



第 1101 期生

高見 和夫 さん (千葉)

## 「一本の電話」

### 1. 受験の動機

私は、会社のサラリーマン管理者です。3年前から一つロケを持たされ、その責任者となっています。「君のロケには衛生管理者がないんだって。誰でもいいから、一人、資格を取ってくれないかな。」と、11月の終わりごろ、社長から私に1本の電話がありました。社内監査で「衛生管理者の不在」が指摘事項に挙がったようです。私は拠点長として、「分かりました。私がやります。」と二つ返事で答えました。

昨年まで、社内で衛生管理者の資格を持っていたが二人いたのですが、退職と人事異動で不在になってしまったのです。総務部に聞いたところ、「衛生管理者は不在から1年以内に配置しないと労働基準監督署から処罰を受ける」ということで、4月の人事異動からかなりの時間が過ぎており、ここは、腹をくくって勉強するしかないと考えました。

### 2. 学習方法・留意すべき事項

まずは、町の本屋に行き、参考書を見ました。しかし、どれも見てもみな分厚くて、勉強の意欲が萎えてしまいました。これではいけないと悩み、グループ会社の教育関係の人に相談したところ、「通信教育のテキスト

がわかりやすい。」とのアドバイスを受けました。

そこで、日本経営教育センターの通信教育を、急遽受講することになりました。12月は、朝5時に起きて勉強し、年末年始の休みもすべて勉強しました。幸運なのは、このテキストが私の相性が合っていたことです。また、テキストが單元ごとに良くまとまり、巻末のチェック問題も、別冊の「必勝問題集」も、解説を含めて要領を得ていました。勉強していくうちに、自信がついたので、勉強を始めてから1ヵ月後に受験を申し込みました。直前には、過去問を4年(8回)分を覚えこんでいきました。

### 3. 受験に当たって

1月20日に試験を受けましたが、終わったあと、「絶対に合格した」自信がありました。それでも、1週間後に合格通知をもらったときは、ほっとしました。早速、社長に報告しました。

### 4. その他

この衛生管理者の試験は、10年以上管理者を勤めている私には、改めてマネジメントの勉強になりました。私に「勉強しろ」と背中を押してくれた社長に感謝しています。